

## PU改造

ストラトに代表されるシングルコイルPUは、PU裏のフェライト磁石に磁性体、もしくは磁石そのものを貼り付けると出力（主に低域）が上がる（100円程度）。PUの出力の特性も当然変化する。また、鉄製のポールピース+フェライト磁石下置きを、フェンダーのオリジナル同様にアルニコ磁石ポールピース（マグネット専門店にて、値段は一本100～300円程度）に置き換えるという話もスレッド内で出たが、まだ実践された形跡はない。その他、ストラトであればミックス時通常の平行配線となるところをシリーズ化したり、コイルタップバランサー、ブレンダー回路を組む等の配線改造がある。レスポール等ハムバッカーのカバーは、簡単な工具で比較的楽に外せる。ハイは強調されるが、ノイズは増える。PU裏のカバーとプレートを止めている半田のダマを、半田ごてで加熱して除去する。ニッパーで削り取る、マイナスドライバーを差し込んでこじ開ける猛者も存在する。外した直後はたいてい口ウでべたべたになっているので、掃除が必要。アルコールでふき取れる場合もあるが、ベンジン、ラッカー薄め液等は樹脂を侵す場合があるので禁物。